学校番号	408

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「新　論理国語」　（三省堂）						
副教材等	「書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字　ゴイカン」（桐原書店） 「正しく読み・解くための力をつける現代文ステップ１．５」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業中は三つの対話（教材との対話・自分との対話・他者との対話）に取り組みましょう。
・失敗や間違いこそ大事な学びです。普段の授業は練習試合、一緒に学ぶクラスメイトはライバルであり、チームメイトでもあります。協働しながら、学びを深めていきましょう。
・学んでいったことから、更に自ら問いを立てながら、学びを広げていきましょう。読書は皆さんの世界を広げるための大きな手段となります。
・授業の中のみならず、皆さんの周りにある普段の「言葉」から意識を向けてみましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の歴史の中で継承されてきた言語文化の持つ価値を認識した上で、常用漢字を正しく読み書きし、実社会に必要な語句や語彙を用い、文章の効果的な組み立てや接続の仕方、修辞を理解して表現に活かすことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
情報を論理的に組み合わせて自らの主張を表現でき、その表現を吟味し、主張がより的確に伝わる文章になるよう工夫することができる。また、文章を的確に把握しながら、その論理性を評価したり、複数の文章や資料を関連づけたりして、自分の考えを深めることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
国語の学びを通して、言葉の持つ価値への認識を深め、自らの言語感覚を磨いた上で、読書に親しみながら、他者との関わりの中で、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の中で継承されてきた言語文化の持つ価値を認識した上で、常用漢字を正しく読み書きし、実社会に必要な語句や語彙を用い、文章の効果的な組み立てや接続の仕方を理解して表現に活かすことができている。	情報を論理的に組み合わせて自らの主張を表現でき、その表現を吟味し、主張がより的確に伝わる文章になるよう工夫することができている。また、文章を的確に把握しながら、その論理性を評価したり、複数の文章や資料を関連づけたりして、自分の考えを深めることができている。	国語の学びを通して、言葉の持つ価値への認識を深め、自らの言語感覚を磨いた上で、読書に親しみながら、他者との関わりの中で、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	単元一　論点を整理するために ～「他者」について＜書く＞ ［教材］若者に友達プレッシャー・自分を捉え直す・他者を理解する	a：文章の構成や展開の仕方、情報を整理する方法について理解を深め使えている。 b[書]：情報を収集、整理して、適切な題材を決めて、自分の考えを書くことができている。 c：自らの言語感覚を磨こうとし、他者との関わりの中で、「他者」について、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート
	単元二　正しく推論するために ～「言葉・言語」について＜読む＞ ［教材］一人で爆笑・カタカナ語は享受すべきか・世界のあり方	a：言葉の働きや推論の仕方について理解を深め使えている。 b[読]：文章の、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握できている。 c：言葉の持つ価値への認識を深め、他者との関わりの中で、「言葉・言語」について、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ミニレポート
二学期	単元三　事例の意味を探るために ～「ジェンダー」について＜書く＞ ［教材］それぞれのしっくりくる言葉・多様な視点から考える・女性／男性だから○○	a：学術的語句の量を増やしたり、語彙を豊かにしたりし、情報と情報との関係について理解を深めている。 b[書]：情報を吟味しながら、主張を明確にし、適切な根拠をそろえて、自分の考えを書くことができている。 c：自らの言語感覚を磨こうとし、他者との関わりの中で、「ジェンダー」について、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート
	単元四　構成を吟味し説得力を高めるために ～「経済」について＜読む＞ ［教材］落語の中の経済学・ホンモノのおカネの作り方・「展示」が伝えるもの	a：学術的語句の量を増やしたり、語彙を豊かにしたりし、情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]：書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深め、書き手の意図と文章の構成との関係を評価できている。 c：自らの言語感覚を磨こうとし、他者との関わりの中で、「経済」について、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ミニレポート
三学期	単元五　信頼性を吟味するために ～「働くということ」について＜読む＞ ［教材］なぜ私たちは労働するのか・「すべり台社会」と“溜め”	a：学術的語句の量を増やしたり、語彙を豊かにしたりし、読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：文章の内容や解釈をもとに、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりできている。 c：言葉の持つ価値への認識を深め、他者との関わりの中で、「働くということ」について、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ミニレポート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間